

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年 10月18日(金) 14:30~16:30
- 3 開催場所 多治見工業高等学校校長室議室
開催にあたり、委員による学校祭見学を実施した
- 4 参加者

会長	山本 将寛	多治見青年会議所副理事長
副会長	早川 隆志	前育友会長 (欠席)
委員	山本 博子	Mama's Café 理事長
	鵜飼 裕子	育友会副会長
	荻原 明広	明和工業株式会社 総務課長
	山本 和彦	本校同窓会 役員
	齋藤 哲弥	地域代表
	村松 敦子	養正公民館 館長 (欠席)
学校側	中田 卓生	校長
	田口 稔	教頭
	永瀬 雅彦	事務長
	加藤 龍輔	教務主任
	青木 崇	生徒指導主事
	加藤 嘉憲	進路指導主事
	和田 正行	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校の状況について

①教務部

- ・学校生活全般
- ・新学習指導要領に対応した新しい評価方法の確立
- ・各種行事
- ・ICT

②生徒指導

- ・生徒の様子
- ・生徒指導部の活動

③進路指導

- ・進路状況
- ・10月までの取り組み

④工業部地

- ・域連携活動
- ・スペシャリストを目指して
- ・県指定「地域産業の担い手育成総合戦略事業」

⑤学校評価アンケートの結果

- 意見1 生徒は礼儀正しく明るい印象である。取組んだことに自信をもって説明ができずばらしい。
- 意見2 文化祭は各科ごとの特色がありよかった。全科合同の作品があるともっとよい。
- 意見3 日常と異なる時に事故が起きやすい。文化祭準備を始める前に安全指導を行ったことはよかった。
- 意見4 アンケートで親子の差があるのは親に学校のことが伝わっていないためである。学校の情報を積極的に伝えた方がよい。
- 意見5 多治見工業高校の先生は親しみやすく話しやすい雰囲気があり相談しやすい。
- 意見6 県外との所得に大きな差がある。地元企業への就職を増やすためには魅力ある企業づくりが大切である。

(2) スクール・ミッションについて

- 意見1 「判断力・行動力がある人材育成」を入れた理由は何か。
⇒地域のものづくり産業を牽引するためには課題解決していく力が不可欠であり、そのために判断力や行動力を養う必要がある。
- 意見2 企業では「教育」を「共育」、「人材」を「人財」として表現することがある。参考にするとよい。
- 意見3 国際社会に貢献できるリーダーやチャレンジ精神という言葉が入るとよい。

(3) 学校への要望や意見

- 意見1 ヤングケアラーは素直で頑張れる子が多い。頑張り過ぎてしまう子供は社会では見落しやすい。教育現場でも気をつけて観てほしい。
- 意見2 地域連携をしているが、近隣地域の連携も重視してほしい。まずは情報共有や交流をしてほしい。
- 意見3 保護者が生徒の姿を見る機会が少ないので参加日を設けてほしい。
- 意見4 自ら考え、夢をもって、諦めずにチャレンジし、やりきることが大切である。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では文化祭見学を行った。生徒の姿を見て委員からよい評価を得た。また、スクール・ミッションの原案に対して意見があり策定の参考となった。さらに、学校への要望が出され、地域からの期待に応えられるように、委員からの意見を参考に今後も学校運営をしていく。